

日ごろの芸術文化活動を披露

10月17日から20日まで、第25回中央公民館文化祭が開催されました。同館を利用する団体が、活動の成果を発表する場として毎年行っているもの。各部屋には書道、美術、写真をはじめ、七宝工芸や木彫りなど多くの力作が展示され、来場者の目を楽しませていました。また、ホールでは民謡、ダンスなどの発表があり、その熱演ぶりに大きな拍手が送られていました。



文化の秋に市民講演会

市民講座が三回シリーズで開催されました。初日の十月十一日には、評論家の竹村健一さんが講演。多くの聴講者が熱心に聞き入っていました。



市民スポーツ祭が開会

前橋テルサで10月9日、市民スポーツ祭の総合開会式が行われました。弓道の勅使河原幸子さんが選手宣誓した後、社会体育功労者や優秀選手などを表彰。国体や障害者スポーツ大会出場選手などの壮行も行われました。



子どもを健やかに育成

十月十九日、市民文化会館で青少年健全育成大会を開催。多くの観客が訪れ、子育てへの関心の高さが伺えます。特にエッセイスト・海老名香葉子さんの講演は、ユーモアあふれる語り口に、館内が沸きました。



電算化でより早い交付



10月15日から、本市の戸籍がコンピューター処理化。戸籍の証明書発行に掛かる時間が短縮されました。初日には、萩原市長らが運用開始を祝いテープカット。続いて交付を申請した最初の市民に、市長が証明書を手渡しました。